

ER 低発現乳癌の臨床病理学的特徴の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年 5月 8日 ～ 2025年 12月 31日

〔研究課題〕

ER 低発現乳癌の臨床病理学的特徴の検討

〔研究目的〕

乳癌における、Estrogen receptor (ER) のカットオフは一般的には1%が用いられていますが、10%以上と1-10%では内分泌療法への効果が異なることが報告されています。しかし、ER 低発現乳癌の明確な基準はなく、治療方針も明らかではありません。そこで、ER 低発現乳癌の臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的とします。

〔研究意義〕

ER 低発現乳癌患者さんの治療方針を検討する際の新たな判断基準の一つとなり、予後の改善に寄与する可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2006年2月から2023年12月までの期間に帝京大学医学部附属病院で治療を行ったER陽性HER2陰性乳癌の患者さんを対象とします。診療録（臨床データ、画像データ、病理組織所見等）を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、個人情報が分からない様に情報の加工を行います。研究終了時に情報を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 池田達彦 職名 帝京大学医学部 外科学講座 講師
所属： 帝京大学医学部 外科学講座／帝京大学医学部附属病院 外科
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1231（代表）